

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

41号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL: 06-6909-6755 FAX: 06-6909-6702
URL: http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます

BIG SUN RX 工法

冬用ビッグサン使用ユーザー様の声

今年ももうすぐ寒い冬の季節がやってきます。毎年この時期は塗膜防水材料にとって、材料の硬化が進まず、作業可能な時間も限られるため職人さん泣かせの時期となります。

そこで、今年も低温時でも乾燥硬化の速い冬用ビッグサン(S・C1800・R1800)を冬期限定で11月より販売開始します！

今年で正式販売を開始して3年目のビッグサンとなりますが、使用していた施工業者様からは大変、御好評をいただいております。

今回は、冬用ビッグサンを御使用いただいた施工業者様の声を皆様に紹介させていただきます。



こんなところで活躍しています

高校校舎屋上 (VUS500)



「ビッグサンは昔から使っています。正直なところ冬期の施工は乾燥硬化がなかなか進まなかったり、トップコートまで施工した後以降霜等で白華が発生する不安があったりして心配な面が多かったですね。

でも冬用ビッグサンを紹介されて使いたってからはそのような不安からは解放されました。屋外であれば夕方ギリギリまで施工しても翌朝には

寒い時期の防水施工の不安が無くなりました！

冬用ビッグサンがまだ試作品の段階から使って頂いて、滋賀県の防水施工店、有限会社ノーブルネットワーク・松本専務にお話を伺いました。

「冬用ビッグサンを使ってみたい感想は？」

「ビッグサンは昔から使っています。正直なところ冬期の施工は乾燥硬化がなかなか進まなかったり、トップコートまで施工した後以降霜等で白華が発生する不安があったりして心配な面が多かったですね。」

「改善して欲しい点などはありませんか？」

「試作段階の製品は少し材料の粘度が低く、垂直面に材料があまり載らない印象があったのですが、製品版では改善されていると感じます。あと、水希釈をしないためなのか、雑な混合攪拌をするとタマ(小さな粉材の塊)が出来やすいので、材料の混合攪拌は職人さん



有限会社ノーブルネットワーク 松本専務様

任せにせず、なるべく僕が自分でやるようにしています。(笑)

気を付ける点さえ、しっかりと押さえおけばとも使いたっていい材料だと思えます。今年も冬場の施工には冬用ビッグサンを使わせてもらいますよ！」

平成26年6月に労働安全衛生法が改正され2年後の昨年6月より「特定の化学物質」を取り扱う際のリスクアセスメント実施が義務化されました。この「特定の化学物質」とは「労働安全衛生法施行令別表第9」に掲げられる約640種類の化学物質を指し、それらを含む製剤・製品」についてもリスクアセスメント実施義務の対象となります。

今回義務化されたリスクアセスメントとは、「一定の危険性・有害性が確認されている化学物質(前述640物質)」による危険性、有害性等の調査を行うこと」です。また、リスクアセスメントの結果を持って、「労働者の危険や健康障害を防止するために必要な措置を講じること」が努力義務となっています。

対象は化学物質を製造し、又は取り扱う全ての事業者で、その業種や規模による区別はありません。

簡単に例えると「高いところで作業する」と「落す」の危険があるのがリスクアセスメントであり実施義務です。その結果「落下を防ぐために安全帯の装着を徹底しよう」などの具体的な予防策を講じるのは努力義務です。

今回のリスクアセスメント実施義務化に伴い大手企業では独自にリスクアセスメントの様式を作成し、実際に現場で施工を行う代理店が現場で

のリスクアセスメントを行い、その結果に対する予防策などを記入・掲示することで今回の法改正に対応しているようです。

弊社製品をご使用いただいているお客様からも、その様式に化学物質名を記入してほしいとのご依頼を頂くことがあります。お客様の中には、リスクアセスメントの内容を把握する段階でつまづいてしまうことが多いのが現状のようです。

リスクアセスメントを実施するために必要な情報は、どの会社のどのような製品でも基本的に「安全データシート(以下SDS)」に記載されています。リスクアセスメントの対象となる物質は「労働安全衛生法」表示または通知すべき物質」に記載されており、製品の有害性も「危険有害性の要約」に記載されています。リスクアセスメントの結果に対する措置は「取扱い及び保管上の注意」や「曝露防止及び保護措置」を参考に検討できます。しかし、普段あまりSDSを目にするのが無い施工代理店の方にとっては、これらの情報をSDSから拾い上げることが手間であると

感じられるようです。

そこで、弊社はお客様のリスクアセスメント実施に活用していただけるように、主要製品の「化学物質管理シート」を作成しました。

このシートにはあらかじめ製品ごとに含有されているリスクアセスメント対象物質を記載しており、実際に作業されるお客様が各施工現場の環境を考慮したうえで保管条件や保護具の使用について記入していただく項目も設定しております。是非ご活用ください。

最後に、リスクアセスメントを実施し、法令を順守することを目的ではなく、リスクアセスメントを実施することで施工作業を行う方々の労働災害、健康障害防止を図るのが目的であることをご理解いただきたいと思います。



スカイレジン<下地調整材>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
＜土木用防水材＞

ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラビタルE-S
＜高強度修補用ポリモックスマルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！



花の都パリ。誰しも聞いたことがあるように、パリを象徴する思い、パリの観光ガイドの写真などは、街角のカフェに上手に花を写し込んで、綺麗な街を創造させます。では実際はどうなのでしょう？

は、屋上を一部緑化もし設置をしなければならぬ。環境保護の観点から緑化を全てにしたかったら、一部は太陽光パネルでもokというところにも留まらなくては。夏場の太陽光を遮断する効果で、建物内の気温を下げる作用は、雨の多いパリでは、一度緑化に含ませると、一度に大量の雨水が流れるのを防止する作用。その目的、野生の鳥がすみつき、生物多様性が期待される。この3つが義務化の主題だそうでは、日本でも緑化と言え、ヒートアイランド現象の緩和や太陽光の遮熱が取りざたされていますが、議論されているものは、遅々として進んでいないのが現状です。生物多様性は環境保護、環境の再構築とも思える。素晴らしい計画とも思える。緑が少なくから植えればよい、という安易な考えにおさめず、環境なともにも考え、この考えが日本国内でも普及すればよいと強く思います。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

大日化成株式会社岡山工場技術部の吉村と申します。

大阪の真面に生まれ高校までで大阪で過ごし、今をきめく加計学園岡山理科大学を修了し大日化成に入社してから十余年が経ちます。学生時代は学業に打ち込みながら熱中したのが回胴式遊技機、いわゆるパチスロです。パチスロはギャンブルと思われがちですが、正確には名前の通り遊戯機でありパチンコ業界にも見られることがあります。私が悪友に誘われ賞金が1万枚2万枚(20040万円相当)は当たり前前の4号機時代、各メーカーはとにかく出玉性能を追求します。獣王、アラジン、ミリオンゴッド、アルバインを全て支給日々に使果たしてしまっ生活を繰り返していました。しかしあまりにギャンブル性が高いため規制強化され出玉が抑えられた5号機の時代に入ります。5号機初期は過激な4号機に慣れた我々へビュウザーからは物足りな台ばかりで、私も一時期辞めて平穩な生活を送っていました。おそく5号機の暗黒時代で遊戯人口も減り、業界全体が廃れていくのは明らかでした。しかしパチスロメーカーの開発陣は規制の範囲内でもうか出玉性能の優れた台を作り出すと試行錯誤を繰り返したはずですが、ここには規制の網の目をかいくぐるようなトリックがあったり、言葉遊びにも似た底理屈があったかもしれません。

しかし開発者が知恵を振り絞った結果、4号機には及ばないものの規制内でユーザーが満足する機種を作り出しある程度人気を取り戻しているに至ります。私はとて、こうした絶望的な5号機規制を乗り越えた開発者に敬意を払いながら、時々楽しむようにしています。このように業界あるところ、必ず規制や規格が存在し、それをクリアするためにメーカーの開発陣は知恵を絞り、何ども何度も同じような実験・試験を繰り返します。どんな製品にも開発者の努力や想いがあるのを忘れないようにしたいものです。そして日々ユーザーの要望にお応えできるものづくり、更には驚かせるような製品作りを意識して日々精進しております。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.
●本社 〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
●東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803
次号も お楽しみに
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

映画で学ぶ 環境問題



タワーリング・インフェルノ
原題: The Towering Inferno
監督: ジョン・ギラミン
製作: アーウィン・アレン
出演者: スティーブ・マックイーン、ポール・ニューマン、ウィリアム・ホールデン
上映: 165分
公開: 1975年(日本)
製作国: アメリカ合衆国

今回は「環境」というのも「防災環境」をテーマに「タワーリング・インフェルノ」の記事にしようと思案中、偶然にも英国の24階建・高層マンション「グレンフェル・タワー」が猛火に包まれたニュースが飛び込んできました。この火災は、2017年6月14日未明にロンドン西部で発生し、死傷者100人以上という大惨事となりました。

今やドバイの162階建のブルジュ・ハリファといい、香港の118階建の環境貿易広場といい、100階を超える建物は各地にあります。いざ火災や地震となるとどうなのでしょう？ 日本には、世界最高レベルの建築基準がありますので、火災や地震でも諸外国のような被害が出ないと思えますが、世界にも我ら日本の技術を活かしてもらいたいところでは。さて、中高年なら誰でも知っている1974年の超大作「タワーリング・インフェルノ」。実はワーナー・ブラザースと20世紀フォックスという「ライバル会社」

が共同で製作したこともあり、本来なら共演できないはずのポール・ニューマンとスティーブ・マックイーンの2大スターが主役を演じて大ヒットを飛ばしました。ご存じない方のために簡単にあらすじをご紹介します。ニューマン演じる設計士による、本日落成式という地上550メートル・138階建、世界最大の超高層ビル「グラス・タワー」。ところが、建築会社の婿養子が大違ひ欲しさに経費をケチったため、細かいケーブルにより配電盤がショートします。義父のウィリアム・ホールデンは、たかがボヤと軽んじて完成祝賀パーティを優先したこと、人知れず燃え広がる火災に、ついに現場はパニックに陥ります。派遣された消防隊長のマックイーンは奇策を打って火災を止めますが、犠牲者は多数にのぼったのでした。

ネット上には現場での検証映像なども出ているようですが、人気のホテルだけに気になるところです。かくいう筆者も、一度ぐらいは屋上のインフィニティプールで泳いでみたいと思っていました。詳細をご存じの方は、ぜひ真実のほどをご一報ください！

建業関連の皆様なら真偽のほどをご存じかもしれませんが、ネット記事によると、このホテルを建設した業者が建てた、とある百貨店は1995年に突如崩壊し、多くの犠牲者を出したのだとか。しかも、その建設業者はすでに倒産しているうえ、そもその納期よりも随分早い納期で前倒し完成させたとのこと。マリーナベイ・ Sands についても、日本の建設会社は軒並み、難易度が高すぎると辞退したこともあり、この業者で大丈夫だったのかと不安の声が高まっているそうです。いやいや、実態はどうなのでしょう？